

庫 生活保護受給者監視条例案

兵 小野市議会会委で可決

生活保護や児童扶養手当受給者などがギャンブルで浪費しているとか市民に監視させる兵庫県小野市の「福祉給付制度適正化条例」案が25日、市議会民生地域常任委員会で可決されました。

同委員会の質疑で蓬萊務市長は、政府の生活保護制度「改正」のなかにギャンブル禁止などの規定がないため市として例示したことや、「問題が起こる前にやる。先手管理」条例に反対する者は浪費を認める者」などと発言しました。

全員一致で可決。同委員会には日本共産党

市議は入っていません。

傍聴した同市に住む男性は「生活保護は権利という本当の意味をわかっていない。ギャンブルの浪費を防ぐという市民感情に訴えている。小野には必要ない条例。全国で広がるのが心配」と話していました。

日本共産党の藤原章市議は「受給者が市民に監視されることになり、支給抑制が懸念される。成立阻止へがんばりたい」と話していました。

同条例案は、27日の本会議で可決・成立が狙われています。